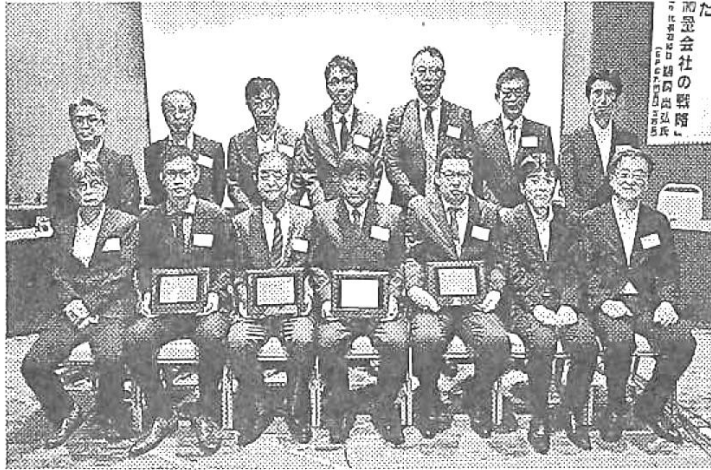


品質管理優秀の4者を表彰 測量協九州



日本測量協会九州支部技術センター(山本宏章センター長)は16日、福岡市内のホテルで九州地区の2025年公共測量品

質管理優秀賞の表彰式を開いた。管理に努めるよう求めた。

写真。基準点部門で選ばれた扇精光コンサルタンツ(長崎市)と対馬開発コンサルタント(長崎県対馬市)、精巧エンジニアリング(大分県由布市)、地図部門の復建調査設計(広島市)の4者に協会本部の廣田三成理事兼測量技術センター所長が記念の盾を手渡した。

表彰式の前には同支部の第62回定時業務報告会を開き、25年度事業計画・収支予算などを報告。横山巖支部長は「会員のニーズに対応した魅力ある支部事業を展開する」とあいさつした。

式終了後、SurveyLifeの鶴飼尚弘代表による「3次元計測を生かした持続可能な測量会社の戦略」をテーマにした講演があった。

廣田理事は「公共工事の最初である測量のでき次第で、その後の作業工程が決まる」と述べ、表彰を契機としてさらなる品質

管理に努めるよう求めた。